

令和 5 年度「びわ湖の日」の取組について

1 これまでの「びわ湖の日」の取組状況について

- ・ 7 月 1 日「びわ湖の日」は、昭和 56 年(1981 年)に「滋賀県琵琶湖の富栄養化の防止に関する条例」施行 1 周年を記念して定められ、7 月 1 日前後には県内全域で清掃活動が実施されるなど、琵琶湖への思いを共有し、環境を守る取組を行う象徴的な日となっている。
- ・ 平成 23 年(2011 年)の「びわ湖の日」30 周年を契機に、「琵琶湖をきれいにしよう」に加えて、「豊かな琵琶湖を取り戻そう」、「もっと琵琶湖に関わろう」の 3 つを展開の柱とし、企業、大学や民間団体等との多様な連携のもと、「びわ湖の日」の活動を推進してきた。
- ・ 平成 30 年度から、誰もが自分に合った方法でより多くの方に琵琶湖に関わっていただけるよう“びわ活”をキーワードに、7 月 1 日「びわ湖の日」から「山の日」までを重点期間としている。
- ・ 令和 3 年(2021 年)7 月 1 日、びわ湖の日の 40 周年を迎え、マザーレイクゴールズ(MLGs)を策定。

【主な取組】

琵琶湖をきれいにしよう

- ▶ びわ湖を美しくする運動

豊かな琵琶湖を取り戻そう

- ▶ 外来生物駆除の取組



琵琶湖にもっと関わろう

- ▶ 「広める」:琵琶湖の価値や
びわ湖の日の意義を発信
- ▶ 「食べる」:身近なことから
琵琶湖に関心をもつ
- ▶ 「学ぶ」:琵琶湖や暮らしとの関わりを学ぶ

2 令和 5 年度「びわ湖の日」の主な取組について

今年度は、「シェアしたくなる、びわ活チャレンジ！～次世代とともに、琵琶湖を学び共有し、行動の輪を広げよう～」をテーマに、次世代の想いや研究による科学的な知見等の発信・共有(シェア)を図り、琵琶湖と関わる様々な活動「びわ活」の輪を広げるための事業を展開する。

【主な取組】

次世代とともに

(1) 若者による琵琶湖の魅力発信プロジェクト「NEXT BIWAKO CREATORS」(新規)

「NEXT BIWAKO CREATORS」は、県が、今年度新たに立ち上げた次世代とともに取り組む琵琶湖の魅力発信プロジェクト。県内外から応募頂いた大学生等 13 名の若者が、琵琶湖岸でのフィールドワークや動画作成を通して、それぞれの感じた琵琶湖の魅力や琵琶湖への想いを県のびわ活公式インスタグラムにて発信する。(URL : https://instagram.com/biwakatsu_shiga?igshid=NTc4MT1wNjQ2YQ==)



(2) 親子で楽しむ環境イベント

「びわ湖の日」を知り、環境問題を考える、親子で楽しむ環境イベントを実施。

日時：6月24日(土)、25日(日) 場所：イオンモール草津 1階セントラルコート

内容：ステージ企画(ゲスト：MLGs 広報大使 伊藤みき氏 ほか)

ワークショップ(親子木工教室、琵琶湖シーグラスを使ったアクセサリ作り)等

(3) 琵琶湖の魅力を感じる体験ワークショップ

琵琶湖を感じ、魅力をシェアしたくなる若者世代を対象とした体験ワークショップを開催。

- ・琵琶湖のヨシを感じる-SUP体験- 日時：7月8日(土)、場所：近江八幡市(円山)
- ・琵琶湖をきれいにする-グラスアクセサリ体験- 日時：7月16日(日)、場所：彦根市(湖岸)
- ・琵琶湖の食を味わう-エビ豆づくり体験- 日時：8月27日(日)、場所：沖島

新たな知見の共有

(4) 第22回生態学琵琶湖賞 授賞式・記念講演

水環境に関連する最新の生態学研究の表彰と受賞者による記念講演の開催。

日時：7月8日(土) 場所：滋賀県庁 新館7階大会議室

受賞者：鏡味 ^{かがみ} 麻衣子 ^{まいこ}氏(横浜国立大学大学院環境情報研究院/都市科学部・教授)

「琵琶湖から広がる泳ぐカビの世界：ツボカビの謎に迫る」

徐 ^{XU} 军 ^{JUN}氏(中国科学院水生生物研究所淡水生態学研究センター副センター長)

「Aquatic Ecology in a Changing World」(和訳：変化する世界における水圏生態学)

(5) 「びわ湖の日」連続講座

包括的連携協定締結大学と連携し、持続可能な社会づくりに向けて、一人ひとりができることについて新たな気づきを得ることを目的に「びわ湖の日」連続講座を実施

- ・立命館大学(びわこ・くさつキャンパス)3回(8月~10月) オンライン併用
- ・龍谷大学(大阪梅田キャンパス)3回(7月27日、9月、10月) オンライン併用

第1回 7月27日(木) 11:00~12:00 場所 龍谷大学 大阪梅田キャンパス

講師 佐野 聡哉氏(滋賀県水産試験場主任主査)「琵琶湖の真珠養殖の再興に向けた取組」

琵琶湖を守り・活かす取組への誘い

(6) びわ湖を美しくする運動

7月1日前後に県民、事業者、各種団体、県および市町が一体となり、県下全域で琵琶湖や河川、道路等における美化活動を実施。

【県主催分実施日・実施エリア】

6/26(月) 南部地区、6/30(金) 甲賀・東近江・湖東・湖北地区(湖北は長浜市主催)

7/3(月) 高島地区、7/6(木) 大津地区

(7) びわこルールキッズ釣り大会

琵琶湖の外来魚を釣り、在来種を守る釣り大会を開催。

7月22日(土) 大津港周辺

(8) しがフォトコン!!2023「びわ湖の日」賞

「しがのフォトコン!!2023」(びわこビジターズビューロー主催)の「びわ湖の日」賞受賞作品を令和6年度「びわ湖の日」ポスターに採用。

(応募期間:令和5年5月30日~令和6年2月7日)



令和5年度「びわ湖の日」ポスター

(9) 包括的連携協定締結企業による「びわ湖の日」の取組

○株式会社平和堂

「滋賀めしメニューコンテスト」入賞作品を商品化し、県産のお米(みずかがみ)や野菜を使用した惣菜2品の販売(6月29日~7月2日、県内約70店舗)

○株式会社ローソン

県産のお米(みずかがみ)や米粉、「アドベリー」を使用し、パッケージにはびわ湖の日ロゴマークを入れたオリジナル商品4品の販売(6月20日~3週間程度、近畿2府4県約2,500店舗)

(10) 「びわ湖の日」パネル展示

県内外の商業施設等で、環境保全、食や農、観光、暮らしなど、様々な視点から琵琶湖について考えていただくパネル展を実施

- ・6/20~ 琵琶湖疏水記念館(京都市)
- ・6/21~7/4 近鉄百貨店草津店
- ・6/30~7/2 ビバシティ彦根
- ・6/21~ ここ滋賀

その他の「びわ湖の日」関連企画・イベント情報は、びわ活ガイドで紹介

<https://www.pref.shiga.lg.jp/biwakatsu/about/index.html>



【参考】令和4年度「びわ湖の日」の主な取組実績

~「びわ湖の日」を知り、びわ湖の魅力に気づく~

(1) 県内外の若年層を対象とした琵琶湖や滋賀の自然と関わるきっかけにつながるPR動画を作成

(令和4年度総再生回数:約5万7千回)



(2) 「びわ湖の日」や環境、MLGsについて考える環境イベントを実施

日時:6月25日(土)、26日(日) 内容:MLGs体操の実演、環境クイズ、活動発表

場所:ブランチ大津京、参加者:約3,000人

(3) 包括連携大学(立命館大学・龍谷大学)との協働による「びわ湖の日」連続講座の開催
オンライン(8/2~12/3 計6回) 当日参加者:196名(延べ) 後日視聴回数:計871回

(4) 京都市内の中学校への出前講座(10/8・11/5)や京都環境フェスティバルへの参加(12/4)、包括連携事業者との協働(㈱ローソンびわ湖の日記念商品(近畿2府4県:6/28~7/26)、日本生命大阪本社でのPR(7/4~7/8))、プレスポ東大阪でのPR(1/27~1/30)等により下流府県で情報発信。

(5) びわ湖を美しくする運動 R4年度実績:87,287人(R3年度実績:77,163人)